

ゴンドラ

No.15

30 周年、60 万人へ向けて

平成 29 年 11 月 7 日、資料館は開館 25 周年を迎えることができました。これもひとえに見学者、関係者のご協力、ご支援の賜物です。この場をお借りしてお礼申し上げます。また 11 月 10 日には、入館者 50 万人を達成しました。平均すれば、毎年 2 万人の入館者が 25 年間続いてきたということであり、人口 7 万人の柏原市にとっては、大きな数字であると考えています。50 万人目の入館者は、奈良市在住の吉川さんで、友人 7 名とともにハイキングの途中に来館されました。館長からの記念品贈呈、記念写真の撮影など慌ただしい状況でしたが、こうしたイベントができたことを当館としてもうれしく思います。なお、記念品にはこれまでのミュージアムグッズ一式と、今回新たに製作した「手ぬぐい」をお贈りしました。当館の外観と隣接する横穴公園をデザインし、注染という昔ながらの手法で染めたもので、市内の染色業者によるものです。プリントとは違う温かみのある風合いで、50 万人達成後、当館窓口にて 300 円で販売しています。

平成 29 年は当館にとって大きな節目の年となりましたが、あくまでひとつの通過点と考えています。次の目標は 30 周年、60 万人達成になるでしょうか。これまでの歩みを止めることなく、一層頑張っ



来館者 50 万人達成のひとコマ

企画展のご案内

◎平成 30 年度秋季企画展「大和川のつけかえーわずか 8 か月の大工事ー」

平成 30 年 9 月 11 日～12 月 9 日

江戸時代につけかえられた大和川の工事は、わずか 8 か月で完成しました。なぜ、そのような短期間で終えることができたのでしょうか。残された史料から考えてみます。

◎平成 30 年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たち」

平成 31 年 1 月 5 日～3 月 10 日

毎年開催しているちょっと昔の道具についての展示です。小学 3 年生の学習内容に合わせた展示にしています。

◎平成 30 年度春季企画展「安宿郡の古墳と寺院」

平成 31 年 3 月 30 日～6 月 16 日

河内国安宿郡（あすかべぐん）の 7～8 世紀の古墳と寺院についての展示です。近つ飛鳥とは何かを考えます。

※タイトル・期間等は変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。

お知らせ

◎出張展示

平成 30 年 9 月 19 日（水）～10 月 10 日（水） 大阪府立中央図書館 1 階展示コーナー

「大和川洪水との戦いー河内国国分村の場合ー」

人々は、大和川の洪水をどのようにして克服していったのか。江戸時代の国分村を事例として考えます。国分村のジオラマや田輪樋の模型、パネルなどを展示します。

◎史跡高井田横穴特別公開

平成 30 年 10 月 20 日（土） 10:00～15:00 史跡高井田横穴公園

普段は鍵がかかって中には入れない横穴を公開します。学芸員による説明もあります。横穴公開は、毎年 5 月と 10 月の第 3 土曜日に実施しています。

◎体験教室

12 月上旬に「しめなわづくり」、2 月上旬に「わらざうりづくり」行います。

◎刊行物

- ・『鍛冶の郷ー大県と田辺ー』 夏季企画展展示図録、26 ページ、300 円
- ・『今町ー三田家・寺田家からみた柏原村ー』 春季企画展展示図録、34 ページ、300 円
- ・『水野家文書』 21 ページ、400 円
- ・『柏原市立歴史資料館館報』 30 号 68 ページ、400 円

企画展を終えて

★平成 29 年度秋季企画展「天井川と洪水－大和川のつけかえ工事－」

平成 29 年 9 月 12 日～12 月 10 日

見学者数 11,383 人（個人 1,611 人、団体 9,772 人）

★平成 29 年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たち－くらしのなかの木の道具－」

平成 30 年 1 月 6 日～3 月 11 日

見学者 2,266 人（個人 1,351 人、団体 915 人）

★平成 29 年度春季企画展

「今町－三田家・寺田家からみた柏原村－」

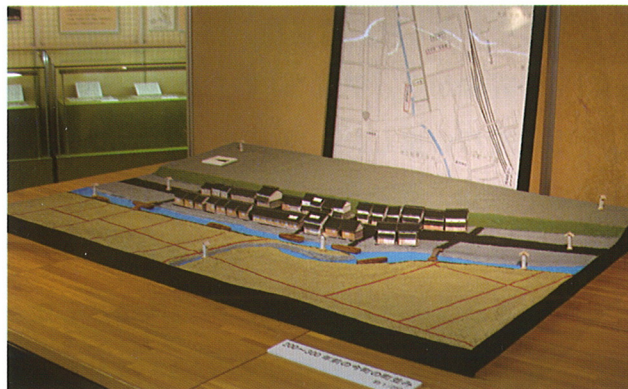
平成 30 年 3 月 31 日～6 月 10 日

見学者 2,280 人（1,642 人、団体 638 人）

★平成 30 年度夏季企画展

「鍛冶の郷－大県と田辺－」

平成 30 年 7 月 1 日～8 月 26 日



かつての今町の街並み（市民歴史クラブ製作）

100 回目の企画展

平成 29 年に資料館開館 25 周年、入館者 50 万人を達成しましたが、もうひとつこの年に節目となったのが秋季企画展「天井川と洪水」で、これが開館以来 100 回目の企画展になりました。

ホームページには、これまでの企画展名をすべて紹介していますが、平成 4 年 11 月の開館記念企画展「高井田横穴群」に始まり、毎年 4 回の企画展を行ってきました。遺跡や古墳などの考古系のテーマに限らず、大和川に関するもの、民具を扱ったもの、古文書を中心としたものなど、振り返ると非常に多彩なテーマばかりです。こうしたテーマの多彩さは、それだけ豊富な素材が柏原にあることを物語っています。貴重な素材を展示で取り上げ、ひとりでも多くの人に柏原の魅力を伝えることが、柏原市、そして市民の財産になっていくと考えています。

これからも「柏原ならではの」という展示を第一に行ってまいります。みなさんから、こうした展示を見たいといった要望がありましたら、ぜひご意見を聞かせてください。



開館以来 100 回目の企画展ポスター

きょうちよかん 安福寺の夾紵棺

平成 29 年 10 月 13 日に放送された NHK の歴史情報番組「歴史秘話ヒストリア」にて、安福寺が所蔵する夾紵棺が大きく取り上げられました。番組は「聖徳太子の棺」をテーマに、夾紵棺の特徴や歴史的な背景を紹介し、安福寺の夾紵棺は聖徳太子の棺の可能性が高いといった内容でした。

この夾紵棺は平成 23 年 9 月に市の指定文化財となり、これまで安福寺で保管されてきましたが、番組放送後、注目が高まることが予想され、保存上の問題なども考慮し、安福寺から当館に寄託されることになりました。放送後、当館にも夾紵棺の展示の有無について問い合わせが何件もありました。

以上の経緯から、平成 30 年 1 月 4 日から 3 月 21 日まで、急遽、特集展示「安福寺の夾紵棺」として展示を行いました。展示では、夾紵棺の実物はもちろん、番組で使用された夾紵棺の実物大復元模型のほか、同時代の古墳出土資料を紹介しました。夾紵棺の復元模型は長さ約 250cm、幅約 110cm、高さ約 70cm のもので、夾紵棺の残り部分や、聖徳太子の墓とされる叡福寺北古墳にある棺台の大きさを参考に、棺蓋、飾金具なども復元されています。見学者にとっては、実物と模型を見比べることができ、夾紵棺がどういったものかよくわかっていただけたようです。

展示期間中の 3 月 10 日には、番組で夾紵棺の解説をされた京都橘大学名誉教授の猪熊兼勝氏にご講演いただきました。話題になった内容で実物も展示中ということもあり、定員 100 人を上回る 111 人が聴講し、大盛況でした。

特集展示や講演会は急遽計画されたものでしたが、実施にあたって小回りが利くのが小規模な資料館の大きな強みです。こうしたタイムリーな取り組みを今後も仕掛けていきたいと思っています。



特集展示「安福寺の夾紵棺」

ひとこと

開館 25 周年という節目を迎えたから、というわけではありませんが、今回から「ゴンドラ」編集の担当者が変わりました。これまでの良さを受け継ぎつつ、徐々に新たなカラーを出していきたいと思っています。また平成 30 年 7 月 1 日より、閉館時間が午後 4 時 30 分から午後 5 時までと、30 分長くなりました。これまで以上に、当館をご利用いただければと思います。(W.Y.)

柏原市立歴史資料館 休館日 月曜日（祝日は開館）、年末・年始



開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

入館料 無料

〒582-0015 大阪府柏原市高井田 1598-1 TEL：072-976-3430

歴史資料館ホームページ QR コード